古小牧工業高 科目基礎情報 科目基礎情報 科目基礎情報 授業形態 開設期 教科書/教材 担当達目標 通して造 一切 一切 一切 一切 一切 一切 一切 一	回り (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	学科(一般科目) 美術I」日本文教出版 憲 関心を高め豊かな感性を育成すると共 理想的な到達レベルの目安 美術学習を通して造形への興味関心が大いに高まり非に社会や生活に生かしていく心情を十分に育成することができる。 関係 創造活動を通して美的体験を豊かにし、 としては実技を中心にして美術とはないを通して美的感覚を洗練し、豊かな感性のた用具類、他すべて記名のこと:画り規、筆洗、布、スケッチブック、ボン 授業内容 1.美術の基礎学習 1-1 オリエン	科目区分 単位の種別と単 対象等年 週時間数 に社会や生活に生力 標準術を共信を育成する 表現と鑑賞の能力 に生を養、アクリル絵の に生を養、アクリル絵の に生きを養、アクリル絵の に生きを表しました。 はな喜びました。 に生きを表します。 にという。 にもないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	一般 / 選述位数	成することを目標とする。 未到達レベルの目安 美術学習を通しても造形への興味関心が高まらず豊かな感性を育成されないばかりか社会や生活に生かしていく心情を育成することができない。 「おを愛好する心情を養うことを目標基にした主題の把握など、その理論である。 「ハレット、張キャンバス、画用鉛」である。 「人の均衡、バランスを把握しデッセ」にする。 「本の均衡、バランスを把握しデッセ」になる。 「本の均衡、バランスを把握しデッセ」になる。 「本の均衡、バランスを把握しデッセ」になる。 「本の均衡、バランスを把握しデッセ」になる。 「本の均衡、バランスを把握しデッセ」になる。 「本の均衡、バランスを把握しデッセ」による。「本の均衡、バランスを把握しデッセ」による。「本の均衡、バランスを把握しデッセ」による。「本の均衡、バランスを把握しデッセ」による。「ままないりを使える。「ままないり、特長をとらえデッサンを行きる。」
科目番号 授業形態 開設期 教科書/教材 担当教員 到達目標 美術学習を通して造 ルーブリック 評価項目1 学科育方法等 概要 授業の進め方・方法 授業計画	授業 授業 対	美術I」日本文教出版 「憲 関心を高め豊かな感性を育成すると共 関心を高め豊かな感性を育成すると共 理想的な到達レベルの目安 美術学習を通して造形への興味関心が大いに高まり非常に豊かな感性を育成すると共に社会や生活に生かしていく心情を十分に育成することができる。 関係 創造活動を通して美的体験を豊かにし、豊かな感情を通して美的感覚を洗練し、豊かな感情を担して美の感覚を洗練し、豊かな感情なに、第一次の表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表	単位の種別と単対象学年 週時間数 に社会や生活に生力 標準が登高に全力 を選りを選りを過去した。 表現と鑑賞の能力 に生を養い制作の書が またいたである。 表現と鑑賞の能力 に生を養いかならである。 またいでものでものでは、 またいでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでもので	位数 履修単位: 1 後期:2 へしていく心情を育べいと、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	成することを目標とする。 未到達レベルの目安 美術学習を通しても造形への興味関心が高まらず豊かな感性を育成されないばかりか社会や生活に生かしていく心情を育成することができない。 「おを愛好する心情を養うことを目標基にした主題の把握など、その理論である。 「ハレット、張キャンバス、画用鉛」である。 「人の均衡、バランスを把握しデッセ」にする。 「本の均衡、バランスを把握しデッセ」になる。 「本の均衡、バランスを把握しデッセ」になる。 「本の均衡、バランスを把握しデッセ」になる。 「本の均衡、バランスを把握しデッセ」になる。 「本の均衡、バランスを把握しデッセ」になる。 「本の均衡、バランスを把握しデッセ」による。「本の均衡、バランスを把握しデッセ」による。「本の均衡、バランスを把握しデッセ」による。「本の均衡、バランスを把握しデッセ」による。「ままないりを使える。「ままないり、特長をとらえデッサンを行きる。」
授業形態 開設期 教科書/教材 担当教員 到達目標 美術学習を通して造 ルーブリック 評価項目1 学科の到達目標 教育方法等 概要 授業の進め方・方法 授業計画	授業 授業 対	美術I」日本文教出版 「憲 関心を高め豊かな感性を育成すると共 関心を高め豊かな感性を育成すると共 理想的な到達レベルの目安 美術学習を通して造形への興味関心が大いに高まり非常に豊かな感性を育成すると共に社会や生活に生かしていく心情を十分に育成することができる。 関係 創造活動を通して美的体験を豊かにし、豊かな感情を通して美的感覚を洗練し、豊かな感情を担して美の感覚を洗練し、豊かな感情なに、第一次の表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表	単位の種別と単対象学年 週時間数 に社会や生活に生力 標準が登高に全力 を選りを選りを過去した。 表現と鑑賞の能力 に生を養い制作の書が またいたである。 表現と鑑賞の能力 に生を養いかならである。 またいでものでものでは、 またいでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでもので	位数 履修単位: 1 後期:2 へしていく心情を育べいと、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	成することを目標とする。 未到達レベルの目安 美術学習を通しても造形への興味関心が高まらず豊かな感性を育成されないばかりか社会や生活に生かしていく心情を育成することができない。 「おを愛好する心情を養うことを目標基にした主題の把握など、その理論である。 「ハレット、張キャンバス、画用鉛」である。 「人の均衡、バランスを把握しデッセ」にする。 「本の均衡、バランスを把握しデッセ」になる。 「本の均衡、バランスを把握しデッセ」になる。 「本の均衡、バランスを把握しデッセ」になる。 「本の均衡、バランスを把握しデッセ」になる。 「本の均衡、バランスを把握しデッセ」になる。 「本の均衡、バランスを把握しデッセ」による。「本の均衡、バランスを把握しデッセ」による。「本の均衡、バランスを把握しデッセ」による。「本の均衡、バランスを把握しデッセ」による。「ままないりを使える。「ままないり、特長をとらえデッサンを行きる。」
開設学科 開設期 教科書/教材 担当教員 到達目標 美術学習・ブリック 評価項目1 学科の到達目標 教育方法等 概要 授業の進め方・方法 授業計画	創造工 後期 「中本 正 下への興味 下への興味 下へののる。 上のでは、 上では、 上では、	美術I」日本文教出版 「憲 関心を高め豊かな感性を育成すると共 関心を高め豊かな感性を育成すると共 理想的な到達レベルの目安 美術学習を通して造形への興味関心が大いに高まり非常に豊かな感性を育成すると共に社会や生活に生かしていく心情を十分に育成することができる。 関係 創造活動を通して美的体験を豊かにし、豊かな感情を通して美的感覚を洗練し、豊かな感情を担して美の感覚を洗練し、豊かな感情なに、第一次の表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表	対象学年 週時間数 に社会や生活に生力 標準 的な 習をり豊かと がまれる できまい できまい できまい できまい できまい できまい できまい できまい	1 後期:2 べしていく心情を育 べしていく心情を育 べしていく心情を育 べしていく心情を育 できれてをかしる。 できれている。 で	成することを目標とする。 未到達レベルの目安 美術学習を通しても造形への興味関心が高まらず豊かな感性を育成されないばかりか社会や生活に生かしていく心情を育成することができない。 「おを愛好する心情を養うことを目標基にした主題の把握など、その理論である。 「人レット、張キャンバス、画用鉛」ではる。 「人の均衡、バランスを把握しデッサ」にする。 「人の均衡、バランスを把握しデッサ」にする。 「人の均衡、バランスを把握しデッサ」を行る。 「人の均衡、バランスを把握しデッサ」を行る。 「人の均衡、バランスを把握しデッサ」を行る。 「人の均衡、バランスを把握しデッサ」を行る。 「人の均衡、バランスを把握しデッサ」を行る。
開設期 教科書/教材 担当教員 到達目標 美術学習を通して造 ルーブリック 評価項目1 学科育方法等 概要 授業の進め方・方法 授業計画	後期 「高校 「沖本」 「原校」 「中本」 「明本」 「明本」 「明本」 「明本」 「明本」 「明本」 「明本」 「明	美術I」日本文教出版 「憲 関心を高め豊かな感性を育成すると共 関心を高め豊かな感性を育成すると共 理想的な到達レベルの目安 美術学習を通して造形への興味関心が大いに高まり非常に豊かな感性を育成すると共に社会や生活に生かしていく心情を十分に育成することができる。 関係 創造活動を通して美的体験を豊かにし、豊かな感情を通して美的感覚を洗練し、豊かな感情を担して美の感覚を洗練し、豊かな感情なに、第一次の表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表	週時間数 に社会や生活に生力 標準的な到達レ 美術を調整を選がした。 ・表現と鑑賞の能力 ことはないでする ・表現と鑑賞の能力 ことはないでする ・表現とはないでする ・表現とはないでする ・表現とはないでする ・表現とはないでする ・できる。 ・表現とはないでする ・できる。 ・表現とはないでする ・できる。 ・表現とはないでする ・できる。 ・表現とはないでする ・できる。 ・表現とはないでする ・・表現とはないでする ・・表現とはないでする ・・表現とはないでする ・・表現とはないでする ・・まできる。 ・まできる。 ・まできないきないまできないまできる。 ・まできないまできないまできないまできないまできないまできないまできないまできない	後期:2 後期:2 後期:2 べしていく心情を育 べしていく心情を育 べいの目安 て造性をかしる。 でき性ができる。 を伸ばすととができる。 を伸ばずなと共に美にない。 を伸ばずないできる。 を伸ばずないできる。 を伸ばずないできる。 を伸ばずないできる。 を伸ばずないできる。 を伸ばが、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では	未到達レベルの目安 美術学習を通しても造形への興味関心が高まらず豊かな感性を育成されないばかりか社会や生活に生かしていく心情を育成することができない。 「「できない。」 「「「できない。」 「「できない。」 「できない。」 「「できない。」 「できない。」 「「できない。」 「できない。」 「できない。」 「できない。」 「できない。」 「できない。」 「できない。」 「できない。」 「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「できない。」 「「できない。」 「できない。」 「できない、こうない。」 「できない。」 「できない。」 「できない。」 「できない。」 「できないい。」 「できないい。」 「できないい。」 「できないい。」 「できないい。」 「できないい。」 「できないい。」 「できないいい。」 「できないいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい
教科書/教材 担当教員 到達目標 美術学習を通して造 ルーブリック 評価項目1 学科の到達目標 教育方法等 概要 授業の進め方・方法 注意点 授業計画	原目との ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	関心を高め豊かな感性を育成すると共に	に社会や生活に生力標準的な到達レ 美術学習を通し心を持っていた。 心を共に社会で生かと、心情を育成する。 表現と鑑賞の能力に生を養い制作の喜び 田筆、アクリル絵のド	へしていく心情を育べしていく心情を育べしていく心情を育べしの目安でいるでではない。 で造形を育している。 ではないできる。 で伸ばすと共にに美でないできる。 で伸ばすと共に、美でないできる。 では、豊かい、ペーパーのではいる。 で学額では、それでは、というでは、というでは、というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	未到達レベルの目安 美術学習を通しても造形への興味関心が高まらず豊かな感性を育成されないばかりか社会や生活に生かしていく心情を育成することができない。 「「できない。」 「「「できない。」 「「できない。」 「できない。」 「「できない。」 「できない。」 「「できない。」 「できない。」 「できない。」 「できない。」 「できない。」 「できない。」 「できない。」 「できない。」 「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「できない。」 「「できない。」 「できない。」 「できない、こうない。」 「できない。」 「できない。」 「できない。」 「できない。」 「できないい。」 「できないい。」 「できないい。」 「できないい。」 「できないい。」 「できないい。」 「できないい。」 「できないいい。」 「できないいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい
担当教員 到達目標 美術学習を通して造 ルーブリック 評価項目1 学科の到達目標 教育方法等 概要 授業の進め方・方法 注意点 授業計画	沖本 正	関心を高め豊かな感性を育成すると共に	標準的な到達レ 美術学習を通し 心を見かきる と共に社会でする を表現と鑑賞の能力 で、創造とはなにできる。 は、制作の声が で、アクリル絵のです。 で、アクリル絵のです。 は、アクリル絵のです。 で、まる素描表現、	ベルの目安 て造形への興味関な感性を育成に生かできる。 「を伸ばすととができる。」を伸ばすと共に美術をではないできる。 「を伸ばすと共にができる。」を伸ばすと共に美術を関かない。 「を伸ばすと、の到達はの関係を表した。」を関係では、のの対象のによりでは、のの対象のによりでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	未到達レベルの目安 美術学習を通しても造形への興味関心が高まらず豊かな感性を育成されないばかりか社会や生活に生かしていく心情を育成することができない。 「「できない。」 「「「できない。」 「「できない。」 「できない。」 「「できない。」 「できない。」 「「できない。」 「できない。」 「できない。」 「できない。」 「できない。」 「できない。」 「できない。」 「できない。」 「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「できない。」 「「できない。」 「できない。」 「できない、こうない。」 「できない。」 「できない。」 「できない。」 「できない。」 「できないい。」 「できないい。」 「できないい。」 「できないい。」 「できないい。」 「できないい。」 「できないい。」 「できないいい。」 「できないいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい
到達目標 美術学習を通して造 ルーブリック 評価項目1 学科の到達目標 教育方法等 概要 授業の進め方・方法 注意点 授業計画	所への興味 項目との「 ※とすめ実定・ 指筆、 週 1週 2週 3週 4週	関心を高め豊かな感性を育成すると共同では、 理想的な到達レベルの目安 美術学習を通して造形への興味関心が大いに高まり非常に豊かな感性を育成すると共に社会や生活に生かしていく心情を十分に育成することができる。 関係 創造活動を通して美的体験を豊かにし、 を通して美的感覚を洗練し、豊かな感性を通して美的感覚を洗練し、豊かな感れた用具類、他すべて記名のこと:画り規、筆洗、布、スケッチブック、ボンを選付の基礎学習 1-1 オリエン 鉛筆による素描表現、人物(画用紙) 1.美術の基礎学習 1-2 鉛筆による「他の基礎学習 1-2 鉛筆による素描表現、人物(画用紙) 1.美術の基礎学習 1-3 混色による、	標準的な到達レ 美術学習を通し 心を見かきる と共に社会でする を表現と鑑賞の能力 で、創造とはなにできる。 は、制作の声が で、アクリル絵のです。 で、アクリル絵のです。 は、アクリル絵のです。 で、まる素描表現、	ベルの目安 て造形への興味関な感性を育成に生かできる。 「を伸ばすととができる。」を伸ばすと共に美術をではないできる。 「を伸ばすと共にができる。」を伸ばすと共に美術を関かない。 「を伸ばすと、の到達はの関係を表した。」を関係では、のの対象のによりでは、のの対象のによりでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	未到達レベルの目安 美術学習を通しても造形への興味関心が高まらず豊かな感性を育成されないばかりか社会や生活に生かしていく心情を育成することができない。 「「できない。」 「「「できない。」 「「できない。」 「できない。」 「「できない。」 「できない。」 「「できない。」 「できない。」 「できない。」 「できない。」 「できない。」 「できない。」 「できない。」 「できない。」 「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「できない。」 「「できない。」 「できない。」 「できない、こうない。」 「できない。」 「できない。」 「できない。」 「できない。」 「できないい。」 「できないい。」 「できないい。」 「できないい。」 「できないい。」 「できないい。」 「できないい。」 「できないいい。」 「できないいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい
美術学習を通して造 ルーブリック 評価項目1 学科の到達目標2 教育方法等 概要 授業の進め方・方法 注意点 授業計画	項目との 美術のの きょすめ方 進と実定定 週 1週 2週 3週 4週	理想的な到達レベルの目安 美術学習を通して造形への興味関心が大いに高まり非常に豊かな感性を育成すると共に社会や生活に生かしていく心情を十分に育成することができる。 関係 創造活動を通して美的体験を豊かにし、きを通して美的感覚を洗練し、豊かな感性のでは実技を中心にして美術とはないを通して美的感覚を洗練し、豊かな感性のた用具類、他すべて記名のこと:画が規、筆洗、布、スケッチブック、ボンを関係を開発を関係を表す。人物(画用記)は、美術の基礎学習 1-1 オリエン 鉛筆による素描表現、人物(画用記)は、美術の基礎学習 1-2 鉛筆による素描表現、人物(画用紙)は、美術の基礎学習 1-2 鉛筆による素描表現、人物(画用紙)は、美術の基礎学習 1-3 混色による、	標準的な到達レ 美術学習を通しか 心を共に社会である。 とは一点が表現と鑑賞の能力 を表現と鑑賞の能力 では、一点である。 は、一点である。 は、一点である。 は、一点である。 は、一点である。 は、一点である。 は、一点である。 は、一点である。 は、一点である。 は、一点である。 は、一点である。 は、一点である。 は、一点である。 は、一点である。 は、一点である。 は、一点である。 は、一点である。 は、一点である。 は、一点である。 は、これである。 と、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで	ベルの目安 て造形への興味関な感性を育成に生かできる。 「を伸ばすととができる。」を伸ばすと共に美術をではないできる。 「を伸ばすと共にができる。」を伸ばすと共に美術を関かない。 「を伸ばすと、の到達はの関係を表した。」を関係では、のの対象のによりでは、のの対象のによりでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	未到達レベルの目安 美術学習を通しても造形への興味関心が高まらず豊かな感性を育成されないばかりか社会や生活に生かしていく心情を育成することができない。 「「できない。」 「「「できない。」 「「できない。」 「できない。」 「「できない。」 「できない。」 「「できない。」 「できない。」 「できない。」 「できない。」 「できない。」 「できない。」 「できない。」 「できない。」 「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「できない。」 「「できない。」 「できない。」 「できない、こうない。」 「できない。」 「できない。」 「できない。」 「できない。」 「できないい。」 「できないい。」 「できないい。」 「できないい。」 「できないい。」 「できないい。」 「できないい。」 「できないいい。」 「できないいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい
ルーブリック 評価項目1 学科の到達目標 教育方法等 概要 授業の進め方・方法 注意点 授業計画	項目との 美術のの きょすめ方 進と実定定 週 1週 2週 3週 4週	理想的な到達レベルの目安 美術学習を通して造形への興味関心が大いに高まり非常に豊かな感性を育成すると共に社会や生活に生かしていく心情を十分に育成することができる。 関係 創造活動を通して美的体験を豊かにし、きを通して美的感覚を洗練し、豊かな感性のでは実技を中心にして美術とはないを通して美的感覚を洗練し、豊かな感性のた用具類、他すべて記名のこと:画が規、筆洗、布、スケッチブック、ボンを関係を開発を関係を表す。人物(画用記)は、美術の基礎学習 1-1 オリエン 鉛筆による素描表現、人物(画用記)は、美術の基礎学習 1-2 鉛筆による素描表現、人物(画用紙)は、美術の基礎学習 1-2 鉛筆による素描表現、人物(画用紙)は、美術の基礎学習 1-3 混色による、	標準的な到達レ 美術学習を通しか 心を共に社会である。 とは一点が表現と鑑賞の能力 を表現と鑑賞の能力 では、一点である。 は、一点である。 は、一点である。 は、一点である。 は、一点である。 は、一点である。 は、一点である。 は、一点である。 は、一点である。 は、一点である。 は、一点である。 は、一点である。 は、一点である。 は、一点である。 は、一点である。 は、一点である。 は、一点である。 は、一点である。 は、一点である。 は、これである。 と、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで	ベルの目安 て造形への興味関な感性を育成に生かできる。 「を伸ばすととができる。」を伸ばすと共に美術をではないできる。 「を伸ばすと共にができる。」を伸ばすと共に美術を関かない。 「を伸ばすと、の到達はの関係を表した。」を関係では、のの対象のによりでは、のの対象のによりでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	未到達レベルの目安 美術学習を通しても造形への興味 関心が高まらず豊かな感性を育成 されないばかりか社会や生活に生かしていく心情を育成することが できない。 「あを愛好する心情を養うことを目標 基にした主題の把握など、その理論 てきない。 「ある。」 一パレット、張キャンバス、画用鉛 い構え、教材教具の使用法を理解する。 現全体の均衡、パランスを把握しデッセ はる。 体の均衡、バランスを把握しデッセ 、そこから感じるイメージや感情表 である。 観察し、特長をとらえデッサンを行
評価項目1 学科の到達目標 教育方法等 概要 授業の進め方・方法 注意点 授業計画	美術の3 進め方践 指定定 週 1週 2週 3週 4週	美術学習を通して造形への興味関心が大いに高まり非常に豊かな感性を育成すると共に社会や生活に生かしていく心情を十分に育成することができる。 関造活動を通して美的体験を豊かにし、 としては実技を中心にして美術とはないを通して美的感覚を洗練し、豊かな感性を通して美的感覚を洗練し、豊かな感性のた用具類、他すべて記名のこと:画財規、筆洗、布、スケッチブック、ボンが養性の基礎学習 1-1 オリエン鉛筆による素描表現、人物(画用紙) 1.美術の基礎学習 1-2 鉛筆に人物(画用紙) 1.美術の基礎学習 1-3 混色による、人物画の基礎学習 1-3 混色による、人物の基礎学習 1-3 混色による、人物画の基礎学習 1-3 混色による、人物の基礎学習 1-3 混色により、	美術学習を通ししたを高まり豊かとと共にで育成すると、表現と鑑賞の能力とはなに生を養い制作の喜び田筆、アクリル絵のと、アクリルと、アクリルと、アクリルと、アクリル・アクリルと、アクリル・アクリル・アクリル・アクリル・アクリル・アクリル・アクリル・アクリル・	て造形への興味関な感性をかいのできる。 が感性をかいる。 を伸ばすと共に手にができる。 を伸ばすと共に美にができる。 を伸ばすと共に美にかいた。 は要ないか、ペーパーの習際からは身になりできる。 できる。サット、ペーパーのでは、は事には、はいます。 できる。からいます。 できる。からいます。 できる。からいます。 はいれるできる。 はいれるできる。 はいれるできる。 はいれるできる。 はいれるできる。 はいれるできる。 はいれるできる。 はいれるできる。 はいれるできる。 はいれるできる。 はいれるできる。 はいれるできる。 はいれるできる。 はいれるできる。 はいれるできる。 はいれるできる。	美術学習を通しても造形への興味関心が高まらず豊かな感性を育成されないばかりか社会や生活に生かしていく心情を育成することができない。 「「「「「「「「「「「「「「「」」」」」 「「「「「」」」」 「「「「」」」 「「「」」」 「「「」」」 「「「」」」 「「」 「「」 「「」 「「」 「」
学科の到達目標 教育方法等 概要 授業の進め方・方法 注意点 授業計画	美術の3 進め方践 指定定 週 1週 2週 3週 4週	美術学習を通して造形への興味関心が大いに高まり非常に豊かな感性を育成すると共に社会や生活に生かしていく心情を十分に育成することができる。 関造活動を通して美的体験を豊かにし、 としては実技を中心にして美術とはないを通して美的感覚を洗練し、豊かな感性を通して美的感覚を洗練し、豊かな感性のた用具類、他すべて記名のこと:画財規、筆洗、布、スケッチブック、ボンが養性の基礎学習 1-1 オリエン鉛筆による素描表現、人物(画用紙) 1.美術の基礎学習 1-2 鉛筆に人物(画用紙) 1.美術の基礎学習 1-3 混色による、人物画の基礎学習 1-3 混色による、人物の基礎学習 1-3 混色による、人物画の基礎学習 1-3 混色による、人物の基礎学習 1-3 混色により、	美術学習を通ししたを高まり豊かとと共にで育成すると、表現と鑑賞の能力とはなに生を養い制作の喜び田筆、アクリル絵のと、アクリルと、アクリルと、アクリルと、アクリル・アクリルと、アクリル・アクリル・アクリル・アクリル・アクリル・アクリル・アクリル・アクリル・	て造形への興味関な感性をかいのできる。 が感性をかいる。 を伸ばすと共に手にができる。 を伸ばすと共に美にができる。 を伸ばすと共に美にかいた。 は要ないか、ペーパーの習際からは身になりできる。 できる。サット、ペーパーのでは、は事には、はいます。 できる。からいます。 できる。からいます。 できる。からいます。 はいれるできる。 はいれるできる。 はいれるできる。 はいれるできる。 はいれるできる。 はいれるできる。 はいれるできる。 はいれるできる。 はいれるできる。 はいれるできる。 はいれるできる。 はいれるできる。 はいれるできる。 はいれるできる。 はいれるできる。 はいれるできる。	美術学習を通しても造形への興味関心が高まらず豊かな感性を育成されないばかりか社会や生活に生かしていく心情を育成することができない。 「「ある」というできない。 「「おる」とができない。 「「おる」とができない。 「「おる」とができない。 「「はる」とができない。 「「はる」とができない。 「「なっとを目標はなど、その理論である。 「「アンスを一般である。」はいる。 「「なっとなっとができない。」はいる。 「「なっとなっとなっとなった。」はいる。 「なっとなっとなっとなった。」はいる。 「なっとなっとなっとなった。」はいる。 「なっとなっとなっとなった。」はいる。 「なっとなっとなっとなった。」はいる。 「なっとなっとなっとなった。」はいる。 「なっとなっとなった。」はいる。 「なっとなったない。」はいる。 「なっとなったない。」はいるいではいる。 「なっとなったない。」はいるいではいるできない。 「なっとなったない。」はいるいきない。 「なっとないないますない。」 「なっとないないますない。」 「なっとないないないないないないないないないないないないないないないないないないな
学科の到達目標 教育方法等 概要 授業の進め方・方法 注意点 授業計画	美術の3 進め方践 指定定 週 1週 2週 3週 4週	心が大いに高まり非常に豊かな感性を育成すると共に社会や生活に生かしていく心情を十分に育成することができる。 関告活動を通して美的体験を豊かにし、としては実技を中心にして美術とはないを通して美的感覚を洗練し、豊かな感性が、一般では、一般では、一般である。 「というない。」というないできる。というないできる。 「というないできる。」というないできる。 「はまるまが、というないできる。」というないできる。 「はまるまが、というないできる。」というないできる。 「はまるまが、というないできる。」というないできる。 「はまるまが、一般ではいうないできる。」 「は、美術の基礎学習」は、「は、大物、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、」」というないでは、「は、「は、「は、「は、」」というないできる。 「は、「は、「は、「は、「は、」」というないでは、「は、「は、」」というないできる。 「は、「は、「は、」」というないできる。 「は、「は、「は、「は、」」というないでは、「は、「は、」」というないできる。 「は、「は、「は、」」というないできる。「は、「は、」」というないできる。 「は、「は、」」というないできる。「は、「は、」」というないできる。 「は、「は、」」というないできる。「は、「は、」」というないできる。「は、「は、」」というないできる。「は、」」というないできる。「は、」、「は、」」というないできる。「は、」、「は、」、「は、」、「は、」、「は、」、「は、」、「は、」、「は、」	 表現と鑑賞の能力 表現と鑑賞の能力 できまりやする とは成する 表現と鑑賞の能力 できる できる ではなに 性を養い制作の喜び おおいます おいます おいます できます できます	な感性を育している。 を伸ばすと共に美術を記さいできる。 を伸ばすと共に美術を表が、とかいできる。 を伸ばすと共に美術を表が、とかいできる。 を伸ばすと共に美術を表が、の到達内な心では、ののでは、できるのでは、できる。 関連が、とのでは、できる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。	関心が高まらず豊かな感性を育成されないばかりか社会や生活に生かしていく心情を育成することができない。 「「できない。」 「「できない。」 「「できない。 「「できない。」 「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「「できない。」 「できない。」 「「できない。」 「できない。」 「できないい。」 「できないい。」 「できないい。」 「できないい。」 「できないい。」 「できないい。」 「できないい。」 「できないい。」 「できないいい。」 「できないいいい。」 「できないいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい
教育方法等 概要 授業の進め方・方法 注意点 授業計画	美術の3 進め方践 指定定 週 1週 2週 3週 4週	関係 創造活動を通して美的体験を豊かにし、 としては実技を中心にして美術とはなにを通して美的感覚を洗練し、豊かな感的れた用具類、他すべて記名のこと:画財規、筆洗、布、スケッチブック、ボン 授業内容 1. 美術の基礎学習 1-1 オリエン 鉛筆による素描表現、人物(画用紙) 1. 美術の基礎学習 1-2 鉛筆に人物(画用紙) 1. 美術の基礎学習 1-3 混色による。 2. 人物画(キャンバス)	こか、創造とはなに 生を養い制作の喜び 用筆、アクリル絵の ド ンテーション 1-2 紙) こよる素描表現、	が、目的や条件を終さきかな心情を育り具セット、ペーパーリーでとの到達目標をできる。観察によるまである。 観察によるでいました。 観察によるまでは、 は際によるによいない。 はいました。 もいました。 はいました。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと	がを愛好する心情を養うことを目標 基にした主題の把握など、その理論 てる。 ーパレット、張キャンバス、画用鉛 心構え、教材教具の使用法を理解す 現全体の均衡、パランスを把握しず ける。 体の均衡、パランスを把握しデッサ 。 、そこから感じるイメージや感情表 る。 観察し、特長をとらえデッサンを行
概要 授業の進め方・方法注意点 授業計画	とする。 進と実践 指策、定定 週 1週 2週 3週 4週	としては実技を中心にして美術とはないを通して美的感覚を洗練し、豊かな感的には実技を中心にして美術とはないを通して美的感覚を洗練し、豊かな感的には、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	こか、創造とはなに 生を養い制作の喜び 用筆、アクリル絵の ド ンテーション 1-2 紙) こよる素描表現、	が、目的や条件を終さきかな心情を育り具セット、ペーパーリーでとの到達目標をできる。観察によるまである。 観察によるでいました。 観察によるまでは、 は際によるによいない。 はいました。 もいました。 はいました。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと	基にした主題の把握など、その理論 てる。 ーパレット、張キャンバス、画用鉛 にはる、教材教具の使用法を理解する。 現全体の均衡、バランスを把握しデッサー。 はなる。 はなの均衡、バランスを把握しデッサー。 で、そこから感じるイメージや感情表する。 観察し、特長をとらえデッサンを行
概要 授業の進め方・方法注意点 授業計画	とする。 進と実践 指策、定定 週 1週 2週 3週 4週	としては実技を中心にして美術とはないを通して美的感覚を洗練し、豊かな感的には実技を中心にして美術とはないを通して美的感覚を洗練し、豊かな感的には、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	こか、創造とはなに 生を養い制作の喜び 用筆、アクリル絵の ド ンテーション 1-2 紙) こよる素描表現、	が、目的や条件を終さきかな心情を育り具セット、ペーパーリーでとの到達目標をできる。観察によるまである。 観察によるでいました。 観察によるまでは、 は際によるによいない。 はいました。 もいました。 はいました。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと	基にした主題の把握など、その理論 てる。 ーパレット、張キャンバス、画用鉛 にはる、教材教具の使用法を理解する。 現全体の均衡、バランスを把握しデッサー。 はなる。 はなの均衡、バランスを把握しデッサー。 で、そこから感じるイメージや感情表する。 観察し、特長をとらえデッサンを行
注意点 授業計画	進め方践 指定で定 調 1週 2週 3週 4週	としては実技を中心にして美術とはないを通して美的感覚を洗練し、豊かな感性のた用具類、他すべて記名のこと:画様、筆洗、布、スケッチブック、ボンを業内容 1. 美術の基礎学習 1-1 オリエン 鉛筆による素描表現、人物(画用紙) 1. 美術の基礎学習 1-2 鉛筆に入物(画用紙) 1. 美術の基礎学習 1-3 混色による 2. 人物画(キャンバス)	性を養い制作の喜び 用筆、アクリル絵の ド ンテーション 1-2 紙) こよる素描表現、	でと豊かな心情を育っ 関でとの到達目標 美が観察によるに対する。観察によるに対すのののののののののののののののののののののののののののののののののののである。 観察によるに対する。 観察によるに対する。 もののできるのできる。 ものできるのできる。 ものできるできる。	てる。 - パレット、張キャンバス、画用鉛 - パレット、張キャンバス、画用鉛 - 小構え、教材教具の使用法を理解す 現全体の均衡、バランスを把握しデ いる。 - 体の均衡、バランスを把握しデッせ 。 - 、そこから感じるイメージや感情 まする。 - 観察し、特長をとらえデッサンを行
注意点 授業計画	C 夫成 指定さ: 筆、定: 週 1.週 2.週 3.週 4.週	れた用具類、他すべて記名のこと:画所規、筆洗、布、スケッチブック、ボン 授業内容 1. 美術の基礎学習 1-1 オリエン 鉛筆による素描表現、人物(画用記 1. 美術の基礎学習 1-2 鉛筆に 人物(画用紙) 1. 美術の基礎学習 1-3 混色による 2. 人物画(キャンバス)	用筆、アクリル絵の ド ンテーション 1-2 紙) こよる素描表現、	週ごとの到達目標 美術学習の内容と る。観察によるに サンカを身によるまつ とかったまに も作りを表して 現を考え、理解す 自分の容姿をよく	ーパレット、張キャンバス、画用鉛 心構え、教材教具の使用法を理解す 現全体の均衡、バランスを把握しま ける。 体の均衡、バランスを把握しデッサ 、そこから感じるイメージや感情ま る。 観察し、特長をとらえデッサンを行
授業計画	筆、定: 週 1週 2週 3週 4週	規、筆洗、布、スケッチブック、ボン 授業内容 1. 美術の基礎学習 1-1 オリエン 鉛筆による素描表現、人物(画用 1. 美術の基礎学習 1-2 鉛筆に 人物(画用紙) 1. 美術の基礎学習 1-3 混色による 2. 人物画(キャンバス)	ド ンテーション 1-2 紙) こよる素描表現、	週ごとの到達目標 美術学習の内容と る。観察による表現全 ン力を身につける 世界りをとおける 色作りをとおけて 現を考え、理解す 自分の容姿をよく	に
	週 1週 2週 3週 4週	授業内容 1. 美術の基礎学習 1-1 オリエン 鉛筆による素描表現、人物 (画用: 1. 美術の基礎学習 1-2 鉛筆に 人物 (画用紙) 1. 美術の基礎学習 1-3 混色に 2. 人物画 (キャンバス)	ンテーション 1-2 紙) こよる素描表現、	美術学習の内容と る。観察による表 ッサンカを身につ 観察による表現全 ンカを身につける 色作りをとおして 現を考え、理解す 自分の容姿をよく	心構え、教材教具の使用法を理解す 現全体の均衡、バランスを把握しまける。 体の均衡、バランスを把握しデッサ。 、そこから感じるイメージや感情まる。 観察し、特長をとらえデッサンを行
	1週 2週 3週 4週	1. 美術の基礎学習 1-1 オリエン 鉛筆による素描表現、人物 (画用記 1. 美術の基礎学習 1-2 鉛筆に 人物 (画用紙) 1. 美術の基礎学習 1-3 混色にこ 2. 人物画 (キャンバス)	紙) こよる素描表現、 	美術学習の内容と る。観察による表 ッサンカを身につ 観察による表現全 ンカを身につける 色作りをとおして 現を考え、理解す 自分の容姿をよく	心構え、教材教具の使用法を理解す 現全体の均衡、バランスを把握しまける。 体の均衡、バランスを把握しデッサ。 、そこから感じるイメージや感情まる。 観察し、特長をとらえデッサンを行
3rdQ	1週 2週 3週 4週	1. 美術の基礎学習 1-1 オリエン 鉛筆による素描表現、人物 (画用記 1. 美術の基礎学習 1-2 鉛筆に 人物 (画用紙) 1. 美術の基礎学習 1-3 混色にこ 2. 人物画 (キャンバス)	紙) こよる素描表現、 	美術学習の内容と る。観察による表 ッサンカを身につ 観察による表現全 ンカを身につける 色作りをとおして 現を考え、理解す 自分の容姿をよく	心構え、教材教具の使用法を理解す 現全体の均衡、バランスを把握しまける。 体の均衡、バランスを把握しデッサ。 、そこから感じるイメージや感情まる。 観察し、特長をとらえデッサンを行
3rdQ	2週 3週 4週	鉛筆による素描表現、人物(画用: 1. 美術の基礎学習 1-2 鉛筆に 人物(画用紙) 1. 美術の基礎学習 1-3 混色による 2. 人物画(キャンバス)	紙) こよる素描表現、 	ッサンカを身につ 観察による表現全 ンカを身につける 色作りをとおして 現を考え、理解す 自分の容姿をよく	ける。 体の均衡、バランスを把握しデッサ 、 、そこから感じるイメージや感情 る。 観察し、特長をとらえデッサンを行
3rdQ	3週	人物 (画用紙) 1. 美術の基礎学習 1-3 混色に 2. 人物画 (キャンバス)		ンカを身につける 色作りをとおして 現を考え、理解す 自分の容姿をよく	。 、そこから感じるイメージや感情える。 観察し、特長をとらえデッサンを行
3rdQ	4週	2. 人物画(キャンバス)	よる色彩学習	現を考え、理解す 自分の容姿をよく	る。 観察し、特長をとらえデッサンを行
3rdQ				自分の容姿をよく	観察し、特長をとらえデッサンを行
3rdQ	5週	- 14 - 25		自分の容姿をよく観察し、特長をとらえデッサンを行う。アクリル絵具の特性やキャンバスの使用法を理解し着彩する。	
		2. 人物画(キャンバス)		自分の容姿をよく う。アクリル絵具 し着彩する。	観察し、特長をとらえデッサンを行 の特性やキャンバスの使用法を理解
	6週	2. 人物画(キャンバス)		自分の容姿をよく う。アクリル絵具 し着彩する。	観察し、特長をとらえデッサンを行 の特性やキャンバスの使用法を理解
	7週	2. 人物画(キャンバス)		自分の容姿をよく う。アクリル絵具 し着彩する。	観察し、特長をとらえデッサンを行の特性やキャンバスの使用法を理解
	8週	2. 人物画(キャンバス)	. 人物画(キャンバス)		観察し、特長をとらえデッサンを行 の特性やキャンバスの使用法を理解
後期 4thQ	9週	2. 人物画(キャンバス) 作品鑑 ブジェの制作 3-1 制作過程	賞会 3. 球体才	材の使用法を理解	し合い今後の活動に役立てる。新教 し、一連の作業を計画的に行ない6 完成する。制作の手だてを確認する
	10週	3. 球体オブジェの制作 3-1 制作 マの決定	作過程 3-2 テー	い印象的なオブジ	理解し、一連の作業を計画的に行た エを完成する。制作の手だてを確認 る。取り組んでみたいテーマを決議 ンする。
	11週	3. 球体オブジェの制作 3-2 テー 制作	マの決定 3-3	い印象的なオブジ	理解し、一連の作業を計画的に行た する。取り組んでみたいラージデッサンする。ねらいを明確に 制作する。
	12週	3. 球体オブジェの制作 3-3 制作	/ F		理解し、一連の作業を計画的に行た エを完成する。ねらいを明確にし、 する。
	13週	3. 球体オブジェの制作 3-3 制作	乍	い印象的なオブジ 慎重、大胆に制作	
	14週	3. 球体オブジェの制作 3-3 制作 会	作 3-4 作品鑑賞	一い印象的なオブジ	理解し、一連の作業を計画的に行た エを完成する。ねらいを明確にし、 する。美しい作品を鑑賞し記念にす
	15週	3. 球体オブジェの制作 3-4 作品 術科の取り組みの反省	品鑑賞会 4.美	美しい作品を鑑賞	[し記念にする。美術に対して興味
				関心をさらに高め	つていく。

	提出作品	合計
総合評価割合	100	100
基礎的能力	100	100